

書き損じはがき回収プログラム

回収へのご協力誠にありがとうございました!!

2011年にスタートした書き損じはがき回収プログラムも今年で3年目を迎え、身近にあるものでできる国際協力として多くの方にご支持頂いております。今年度はテレビや新聞などメディアなどで紹介して頂く機会が多かった為、個人様の協力者が昨年に比べ、約3倍近く増加しました。



福岡市立愛宕小学校



福岡市立高宮中学校



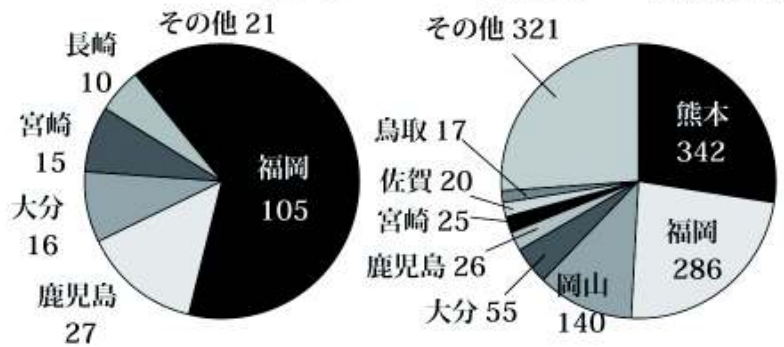
鳥栖市立田代中学校

【回収結果】

総額 6,800,619円

ご協力者	個人 1232名、194団体
はがき	3,855,137円 (96,157枚分)
切手	2,671,982円
テレカ	273,500円分 (1,923枚)

【学校団体】 194 団体 【個人】 1232 名



【掲載新聞】



- 大分合同新聞
- 熊本日日新聞
- 鳥根日日新聞
- 山陽新聞
- 朝日新聞
- 西日本新聞
- 徳島新聞
- その他、市報など。

書き損じはがき随時受付中!!

支援品は年間を通して回収を行っています。
下記宛までご送付頂ければ幸いです。



〒814-0002
福岡市早良区西新1丁目7-10-702
(財)カンボジア地雷撤去キャンペーン宛

カンボジア スタディツアー

学び・交流・観光の詰まった充実のツアー

今年度より学生向けのツアー「NGO駐在員と行く!カンボジアツアー」を夏休みの8月・9月と春休みの3月に実施しました。その他、毎年行っているツアーと合わせて、ツアー本数は過去最多を記録し、ツアー参加者は、87名に達しました。参加者からは、「NGOの現地での活動を知ることができた」「カンボジアの現状を自分の周りにいる人から伝えていきたい」などのお声を頂きました。



CMCトゥールポンローみおつくし中学校での交流



CSHDの地雷撤去現場を視察



地雷被害者へのインタビュー

2013年度

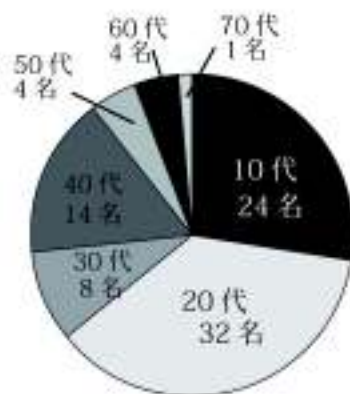
ツアー参加者

87名

【2013年4月～2014年3月実施ツアー】

2013年7月	守勢塾様 地雷原経済視察ツアー	参加者11名
2013年8月～9月	CMC NGO駐在員と行く!夏休みカンボジアツアー(3本実施)	参加者25名
2013年9月	(株)データ・マックス/佐世保JC様 地雷原視察・卒業式ツアー	参加者7名
2013年12月	千代田区様 国際協力体験ツアー	参加者17名
2013年12月	CMC 冬休み地雷原視察ツアー	参加者9名
2014年2月	CMC 第18次スタディツアー	参加者9名
2014年3月	CMC NGO駐在員と行く!春休みカンボジアツアー	参加者9名

【年代別割合】



【参加者の声】

川田侑彦さん (大学生)

一日一日に色々な体験が詰まっていて、毎日がとても充実していました。

観光の部分のみでなく、現地の学生や子どもたちとの触れ合いも本当に楽しく、彼らの笑顔にたくさん元気をもらいました。しかし、観光や触れ合いの楽しい部分だけでなく、カンボジアの厳しい現実にも直面し、自分の今までの認識を改めさせられました。

東 志保さん (会社員)

ツアーで何を考え、今後どう動くかが重要なこと。

以前は、「カンボジアには地雷がたくさん埋まっている。」と聞いても、ただの情報としか捉えられず実感はわかりませんでした。しかし、アキラさんの地雷撤去の現場で土中に埋まっている地雷を見た時、また、その地雷の爆破処理の際の体に響く爆発音で恐怖と共に現実を思い知るようになりました。

CMC 15周年記念式典

設立15周年を記念して11月4日に行われた「CMC15周年記念式典」。

講演会に約330名、講演会終了後に行った祝賀会には約180名の方にご参加頂き、盛大に開催することができました。

奇しくもカンボジアと日本の国交60周年を迎える本年に皆様と共に設立15周年を迎えられた事に心より感謝申し上げます。講演会終了後の祝賀会には福岡市長高島氏をはじめ、各政党代表者の方にもご出席およびご挨拶を頂きました。式典では、和太鼓の演奏やカンボジア留学生のダンスなどもあり、賑やかな会となりました。



カンボジアより元少年兵で現在地雷撤去スペシャリストとして活躍するアキラ、アキラの下で働く地雷被害者アラ、地雷被害者でミスランドメインにも輝いたソピアップが特別来日!!

講演をして頂いた3名に花束贈呈



理事長大谷が「CMC15年の歩み」について講演



講演を行ったアキラ(写真上)、アラ(写真下)、ソピアップ(写真右)



福岡ガーデンパレスにて行われた祝賀会



粕屋町和太鼓ガイヤの響様



カンボジア留学生のダンス

地雷被害者ソピアアップ 国際理解授業

CMC15周年式典の際に来日したソピアアップと約2週間にわたり、福岡県内の小中高、大学および団体など約10箇所で講演活動を行いました。5歳の時に地雷被害に遭い、左足を切断したソピアアップ。幼少期のエピソードを語る時、感極まり時には涙してしまう事もありました。はじめて、地雷被害者を目にした子どもたちは、初めは驚いている様子もありましたが、彼女の真っ直ぐな瞳で語る話に皆様真剣に耳を傾けて下さいました。

「また、次回は是非講演に来てください」とのお言葉も頂きました。講演の様子は連日テレビ新聞などのメディアでも紹介されました。



福岡大学

【ソピアアッププロフィール】

6歳で地雷被害に遭い、片足を失う。18歳の時、ミス・ランドマインに選ばれた。現在はバタンバン大学に通う女子大学生。将来の夢はNGO会計士。

【ソピアアップ講演先】

- 福岡大学 (対象150名)
- 志免町立志免西小学校 (対象80名)
- CMC支援企業のゴルフコンペ懇親会動 (対象150名)
- 福岡高校 (対象50名)
- ピースポートセンターふくおか (対象20名)
- LOVE FMラジオ出演
- 福岡女学院看護大学 (対象100名)
- TNCテレビ西日本「CUBE」に生出演
- 福岡市立今宿小学校 (対象70名)
- 筑紫女学園大学 (対象130名)
- 糟屋町立粕屋西小学校 (対象70名)
- 糟屋町立粕屋東中学校 (対象30名)



志免西小学校



粕谷西小学校

講演活動、国際理解授業

2013年度 講演一覧

(福岡県)

朝倉市立十文字中学校
福岡市立多々良中央中学校
福岡市立高宮中学校
福岡婦人問題研究所
九州国際大学
福岡市立箱崎清松中学校
福岡市立苓岐中学校
粕屋町立粕屋西小学校
福岡大学
大学生協九州事業連合

志免町立志免西小学校
福岡市立西新小学校
福岡県立福岡高等学校
ピースポートセンターふくおか
福岡女学院看護大学
筑紫女学園大学
粕屋町立粕屋東中学校
能古島青少年育成協会
福岡教育大学附属福岡小学校
福岡県立玄洋高校

(大分県)
大分市立坂ノ市中学校
宇佐市立西部中学校
(佐賀県)
唐津市立北波多中学校
(高知県)
三原村立三原中学校
(大阪府)
大阪市立住之江中学校

(福島県)
白河市立白河第二中学校
(三重県)
三重県教職員組合名張支部
(愛知県)
名古屋市立名東小学校
小牧市婦人奉仕団全体会
(東京都)
千代田区役所

世界にも目を向ける地球人としての視点を

CMCでは小学校から大学、行政・諸団体等へ、平和・人権・国際協力などに関する講演や授業の講師派遣も行っています。日本ではニュースにならない地雷被害の現状や、地雷模型を使った説明を取り入れた授業を展開。実際に現地で活動している国際NGOだからこそ、現地の状況や本当に必要な支援とは何かを伝えることができます。また、日本各地にボランティアで関わっているCMCメンバーがおりますので、全国各地で講演を行っています。



千代田区役所地域市民講座にて大谷理事長講演



粕屋町立粕屋西小学校にて古川事務局長講演



朝倉市立十文字中学校にて樋口評議員講演



白河市立白河第二中学校にて東北事務局十文字ご夫妻講演



宇佐市立西部中学校にて大分事務局羽田野氏講演



大阪市立住之江中学校にてCMCツアー参加者山田氏講演

イベント、チャリティ事業



今年度もイベント出展や募金活動、チャリティ事業を通し、地雷問題の啓発活動を行いました。イベントでは、毎回多くのボランティアの皆様にご協力頂き、特に東京、大阪などはボランティアスタッフが中心となり準備から当日の運営まで行っていました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



ハートフルフェスタ福岡2014

- 2013年度出展イベント ●
- 5月 唐津チャリティフェスタ
- 7月 カンボジアフェスタ
- 10月 ハートフルフェスタ
- よこはまフェスタ
- かずがいきいきフェスタ
- 2月 大阪ワンワールドフェスタ
- 3月 キラキラフェスタ



大阪ワンワールドフェスタ(大阪事務局)



きらきらフェスタ(東北事務局)

【チャリティ野球】

福岡ソフトバンクホークスマーケティング(株)のご協力の下、チケット1枚につき500円が寄付になるチャリティ試合を実施。

- 6月12日(木)
- 6月13日(金)
- VS 東京ヤクルトスワローズ
- 9月10日(火)
- 9月11日(水)
- 9月12日(木)
- VS 埼玉西武ライオンズ



【街頭募金活動】

小学生の子供から学生、社会人までが集結し、街頭募金活動を行い、「100円で1㎡の地雷原が撤去できる」ことを訴えました。



実施月：4月/6月/7月

MRE 地雷危険回避教育

～子供たちの地雷被害をゼロにするために～



カンボジアで起こる地雷被害の多くは農作業中によるものだが、子供被害の70%以上は興味本位で遊んでいたり、地雷や不発弾と知らずに触れている間に起こる。そういった子供の地雷被害をゼロにするために、地雷撤去活動と同様に重要な活動が「地雷危険回避教育」だ。

CMCでは特に地雷被害の多いバタンバン州の小中学校を訪問し、地雷原で生活する子どもたちを対象に、地雷模型やポスターを見せながら、地雷や不発弾の危険性や発見時の対処法について啓発活動を行っている。すぐに成果の出るものではないが、継続的に実施することで子供被害を確実に減らすことができる。

活動期間：2013年5月～2014年3月

対象エリア：バタンバン州

バンティアイミエンチャイ州

パイリン市

対象児童数：3526人

訪問学校数：35校



MRE活動地域では、写真のように地雷や不発弾が無造作に転がっている

助成協力：公益信託今井記念海外協力基金



MRE活動をするにあたって、CMACや
州・郡担当者との打ち合わせ



MRE活動エリアにはバイクで移動します



ポスターを使って地雷の
危険性について説明する



お姉ちゃんに連れられてきた
未就学の弟も熱心に聞いてます



ドクロマークの赤い看板や地雷模型を使って
子供たちに地雷原での注意を促す



事務所内で集計作業を行う
CMCスタッフたち



道端で見つかった不発弾
地雷原の村では日常に危険が潜んでいる

地雷撤去支援



CMCは、1998年設立当初から継続して、地雷撤去団体への資金援助を行っている。2013年度は、スタディツアーで地雷原を3度訪問し、命がけで地雷撤去活動を行っているMAGとCSHDへ支援金を手渡した。

MAG

Mines Advisory Group

イギリスが運営するNGOで1989年より活動を開始し、カンボジアの他約40ヶ国以上で活動を展開している。ディマイナー（撤去隊員）には、子どもを育てるためディマイナーになった母親や地雷で足を失った被害者も多い。



訪問地雷原は、カンボジアのタイ国境沿いバイリン地区のグラハム村。近隣で、1名が死亡、18名が負傷、現在8種類の対人地雷と17の不発弾を処理するも、1/4のエリアしか進捗していない。

CSHD

Cambodian Self Help Demining

内戦時、10歳から少年兵として戦いに巻き込まれてきたアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。戦争の悲惨さを伝えるため、地雷博物館も運営している。



バタンバン州にある小学校から直線距離で600mの場所にある地雷原を視察。ソ連製対人地雷PMN IIが見つかり その場で爆破処理。子供たちの日常に潜む地雷の危険性を改めて感じた。

地雷原での教育支援

■CMCコートライ夢中学校 (2008年落成／協力:佐世保青年会議所)



中学校建設後も毎年訪問頂いている佐世保青年会議所のみなさんが、今年度も4月、9月と訪問頂きました。今回は、図書室用の本やサッカーボールやホワイトボードのご支援を頂き、子どもたちと交流されました。9月には、毎年恒例の卒業式も行われ、卒業生に証書が授与されました。

■CMCポップイ安倍小学校 (2004年落成／協力:入水寺 故安倍量基住職)



2004年2月スタディツアーで、CMCが建設したポップイ小学校を訪問。ツアー参加者の十文字壱圭くんは、剣道で子供たちと交流。子供たちに大人気でした。また、歯科医師の平山さんと尾形さんによる歯科診断も行って頂きました。

■CMCトールポンローみおつくし中学校 (2010年落成／協力:大阪西ワイズメンズクラブ (株)データ・マックス)

雨季のスコールにより地盤が緩くなり、自転車では走行不可能となっていた通学路。そのため、学校に出来ない子供たちも増えているという状況を受け、学校前の通学路2キロを舗装しました。

その舗装資金を援助頂いたのは、中学校建設でも多額の資金支援を頂いた(株)データ・マックス児玉社長。9月には、児玉社長ご自身もトールポンロー中学校に来て頂き、卒業式を行いました。



ラジオ放送「ボイス・オブ・ハート」

地雷被害者の心をケアを目指し、2005年にスタートさせたラジオ番組「ボイス・オブ・ハート」。2013年度は、2013年12月～2014年3月まで計12回放送し、地雷被害やハンディキャップを負いながらも社会で活躍する方々を招き、現在の活躍や将来の夢について話して頂きました。



សំឡេង	បុគ្គលិក	សម្រាប់
FM103.25 MHz	FM96.7 MHz	FM97.5 MHz
សិន 12-14 ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៣ ម៉ោង ១២-១៤ ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៤	សិន ១២-១៤ ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៣ ម៉ោង ១២-១៤ ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៤	សិន ១២-១៤ ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៣ ម៉ោង ១២-១៤ ម៉ោងរៀងរាល់ថ្ងៃ ចន្ទ ១២/១២/២០១៤

■ラジオスポンサー様

- SHINNIHON SEIYAKU
- Phnom Penh Commercial Bank
- Bank of Tokyo Mitsubishi UFJ
- Lan Property
- Rare Wings Co.,Ltd
- MIEL Aesthetic
- Mr.Jaemin Yeom (PPCB)
- Mr. Kenji Motobayashi
- TKOK Design
- T.W.E.C.Co.,Ltd
- Eclipse sky bar
- A&P Accounting
- Nanux
- Mr.Tae Yun Kim



チュニアン・サット先生(42才)は、片田舎の小学校で教師をしています。学校や家族について話してくれました



ラット・パウ君(19才)は、現在中学3年生。毎日の生活や将来について話してくれました

チア・サヴァン(52才)は、シェムリアップ義足リハビリセンターで 義手・義足技師として活躍しています



トリーさんは、2011年プレアヴィヒア寺院を巡るタイとの紛争時に兵士として国境を警備しており、タイから撃たれたクラスター爆弾により左足を失いました。足を失ったときは、深く落ち込み、将来を悲観したそうですが、自分と同じ境遇の障害者仲間の励ましで生きる希望を見いだせるようになったそうです



ミス地雷被害者コンテスト優勝のソピアップさんは、5才の時に地雷により片足を失いましたが、現在、自立のため大学で会計の勉強をしています

パソコン訓練事業



カンボジアでは多くの方が農業で収入を得ています。しかし、手足を失った地雷被害者は肉体労働である農業に従事することが難しいため、働くことが出来ず、被害者家族の多くは厳しい生活を強いられています。世界各国のNGOが地雷被害者支援のための病院や義足リハビリセンターを運営していますが、農業で働けなくなった被害者の収入向上につながる支援はほとんどなされていないのです

CMCでは、地雷被害者が最も必要な「就業」を支援するため、プノンペンの日系企業「カンボジア大六」協力のもと、手足がなくてもできるパソコン訓練事業をスタートしました。



CMCバットバン事務所での面接に通ったスレン君とチャンティ君が、第1期生として訓練をスタートさせました。

ところが、給与が低い、家族に会いたいなどの理由から、事業の途中で2人とも辞めてしまいました。CMCとしても本当に残念な結果になりましたが、成功のための経験として活かして参りたいと思います。

2014年3月には、第2期生を選考するため、CMCバットバン事務所にあるパソコンを地雷被害者や身障者のために開放しました。

今後、第2期生の訓練をスタートさせ、2014年秋頃から訓練で得た技術で収入を得られるように進めていきたいと思っています。

助成協力：庭野平和財団



決 算 報 告 書

(第 3 期)

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

電話： - -

貸借対照表

平成26年 3月31日 現在
一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

資産の部

【流動資産】

現金及び預金	5,860,034	
流動資産合計		5,860,034
資産の部合計		5,860,034

負債の部

【流動負債】

短期借入金	1,814,000	
未払金	840,300	
流動負債合計		2,654,300
負債の部合計		2,654,300

純資産の部

【株主資本】

利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,205,734	
その他利益剰余金合計	3,205,734	
利益剰余金合計	3,205,734	
株主資本合計		3,205,734
純資産の部合計		3,205,734
負債及び純資産合計		5,860,034

損益計算書

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

【売上高】

支 援 金	6,955,250	
募 金	480,354	
事 業 収 入	25,755,389	
売 上 高 合 計		33,190,993

【売上原価】

当 期 商 品 仕 入 高	6,942,112	
合 計	6,942,112	
売 上 原 価		6,942,112
売 上 総 利 益 金 額		26,248,881

【販売費及び一般管理費】

販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		27,175,686
営 業 損 失 金 額		926,805

【営業外収益】

受 取 利 息	413	
雑 収 入	310,415	
営 業 外 収 益 合 計		310,828
経 常 損 失 金 額		615,977
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		615,977
当 期 純 損 失 金 額		615,977

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

給 料 手 当	6,686,664
雑 給	130,000
法 定 福 利 費	2,075,727
外 注 費	600,000
荷 造 運 賃	4,350
広 告 宣 伝 費	35,000
接 待 交 際 費	65,320
会 議 費	110,700
旅 費 交 通 費	972,025
通 信 費	424,712
消 耗 品 費	213,081
事 務 用 消 耗 品 費	306,638
修 繕 費	120,525
水 道 光 熱 費	101,222
新 聞 図 書 費	2,460
諸 会 費	184,000
支 払 手 数 料	630
車 両 費	667,646
地 代 家 賃	835,136
賃 借 料	193,260
リ ー ス 料	629,120
保 険 料	89,410
租 税 公 課	753,890
支 払 報 酬 料	375,000
寄 付 金	1,619,000
研 究 開 発 費	3,437,710
雑 費	253,650
現 地 活 動 費	6,288,810

販売費及び一般管理費合計

27,175,686